

2014/04/13 kintone API のアップデート情報

2014年4月13日の定期メンテナンスの、kintone API に関する新機能、変更情報をお知らせします。

kintone REST API

追加される機能

次の機能が追加されます。

- レコードのリビジョンを管理する機能
次のAPIのレスポンスに、リビジョン番号を示すフィールド/パラメーターが追加されます。リビジョン番号を使用することで、複数のリクエストを順に実行する際に、他のリクエストの割り込みによりレコードが更新されることを防げます。
 - [レコード取得 \(フィールドコード: \\$revision\)](#)
 - [レコード一括取得 \(フィールドコード: \\$revision\)](#)
 - [レコード登録 \(パラメーター名: revision\)](#)
 - [レコード一括登録 \(パラメーター名: revisions\)](#)
 - [レコード更新 \(パラメーター名: revision\)](#)
 - [レコード一括更新 \(パラメーター名: revision\)](#)
 - [レコード一括削除 \(パラメーター名: revisions\)](#)
- [一度に複数のアプリでリクエストを実行する機能](#)
同時に複数 (最大20リクエスト) のレコードの登録、更新、一括登録、一括更新、一括削除 APIをリクエストの配列順に実行できます。

kintone JavaScript API

追加される機能

次の機能が追加されます。

PCブラウザ用

- 次のフィールドが参照するアプリのIDを取得する機能。
 - [ルックアップ](#)
 - [関連レコード一覧](#)
- [外部のドメインのAPIを実行する機能。](#)

- 次の操作を実行したときに発動するイベントを追加。
 - [ルックアップフィールドに値を設定して、ほかのフィールドのコピーができるイベント](#)
 - [レコードを削除した時](#)
- 次のイベントの発動時にフィールドの値を更新する機能。
 - [レコード追加画面が表示された時のイベント](#)
 - [レコード編集画面が表示された時のイベント](#)

スマートフォン用

- [レコードの情報を取得する機能](#)
- [レコードを更新する機能](#)
- [ヘッダー直下の要素を取得する機能](#)（次の画面で利用できます）
 - レコード一覧画面
 - レコード詳細画面
 - レコード登録画面
 - レコード編集画面

API仕様の変更情報

2014年3月11日のお知らせ「[2014年4月13日の定期メンテナンスにおけるAPI変更点](#)」をご確認ください。

サンプル

次のサンプルを追加しました。

- [予算と実績の達成率の集計表](#)